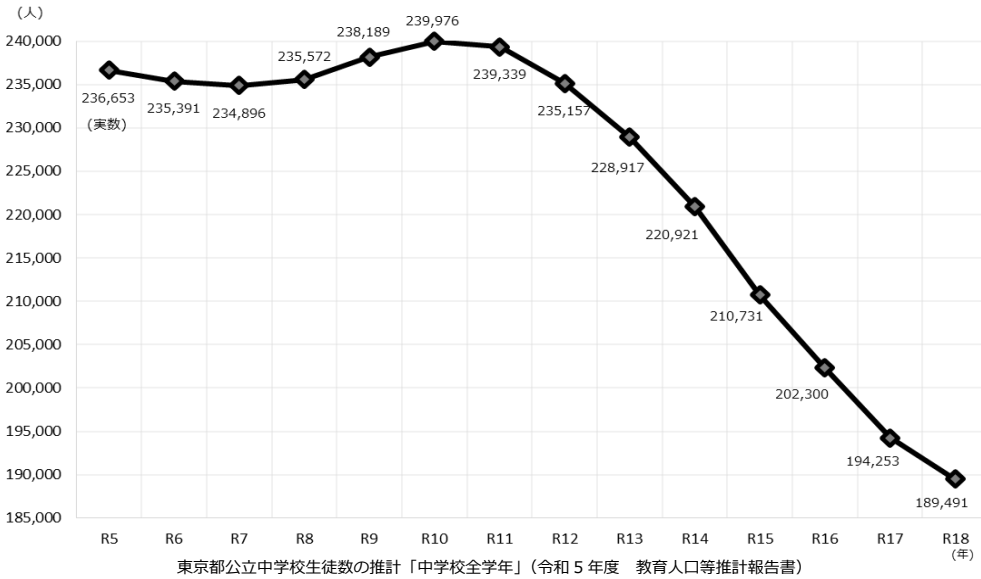
東京都では、令和５年度から休日等の
部活動の地域連携・地域移行
を進めています。

背景

少子化の進行により
学校単位の
部活動の存続が困難

【令和５年度】
都内公立中学校等※で
71 部が休部・廃部
令和５年度「部活動実施状況調査」
（東京都教育委員会）

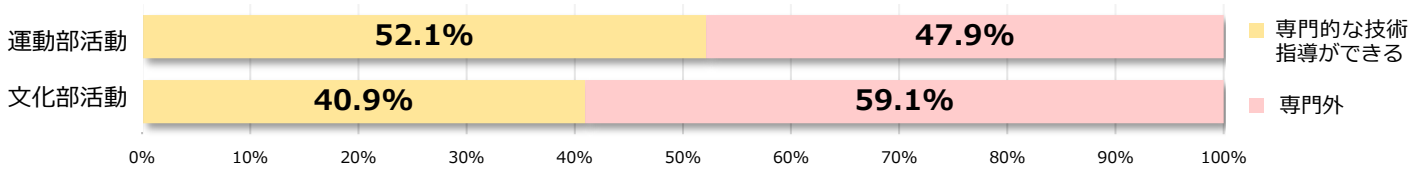
※　中学校等：中学校、義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程



東京都公立中学校生徒数の推計「中学校全学年」（令和５年度　教育人口等推計報告書）

➡　**学校単位から地域単位の活動・複数校合同の取組が必要**

専門的な技術指導のできない顧問が約半数

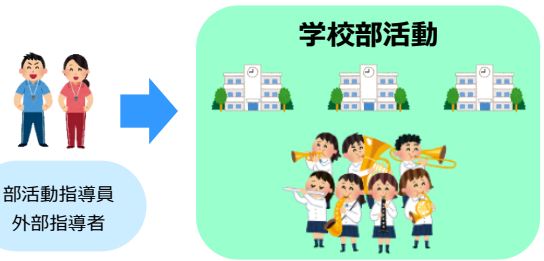


令和５年度「部活動実施状況調査」（東京都教育委員会）

➡　**専門的な技術指導ができる指導者の確保が必要**

部活動の新しい形

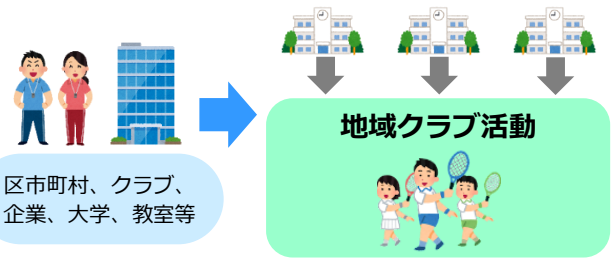
地域連携　学校で運営・実施



地域人材を活用するとともに、複数の学校で実施

段階的に移行

地域移行　地域の多様な団体で運営・実施



クラブ・企業・大学等が主体となった地域クラブ活動で実施

- 顧問の先生の異動等にかかわらず、継続的に専門的な指導が受けられることが期待されます。
- 通学する学校の部活動には無かった様々なスポーツ・文化芸術活動を体験できる機会の創出が期待されます。

東京都の方向性

令和７年度末までに、都内全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じて、地域連携・地域移行に向けた取組を実施し、生徒が自主的・自発的にスポーツ・文化芸術活動に継続して親しめる環境を整備

R5　R6　R7　R8

改革推進期間 → 進捗状況を検証　更に改革

持続可能なスポーツ・文化芸術環境の構築

子供たちの多様なニーズに応じた活動機会の創出

Q&A

Q　地域クラブ活動として活動するようになると、学校部活動における達成感や仲間との一体感など、貴重な経験をする機会がなくなってしまうのではないでしょうか。

A　学校部活動の教育的意義を、地域クラブ活動においても継承・発展できるよう、学校教育関係者等と連携を図り、発達段階やニーズに応じた多様な活動ができるよう進めていきます。

Q　平日と休日で指導者が変わると、指導方針などが異なり、子供たちは混乱しないでしょうか。

A　学校と地域クラブが緊密に連携し、指導方針や生徒に関する情報等を指導者間で共有します。

Q　平日も休日も地域連携・地域移行していくのでしょうか。

A　まず、休日における地域連携・地域移行に取り組んでいきます。地域の実情等によっては、平日と休日を一体として取り組むことや、平日から先に取り組むことも考えられます。当該地域にふさわしい地域連携・地域移行の在り方を関係者間で丁寧に調整していきます。

Q　活動中に生徒が事故にあったりけがをしたりした際、どこが対応するのでしょうか。

A　学校の管理下で行われる学校部活動での事故等の場合は、学校及び所管の教育委員会が対応します。地域クラブ活動での事故等の場合は、原則として運営・実施する団体が対応します。

Q　地域クラブ活動として、今までどおり大会に参加することはできるのでしょうか。

A　中学校体育連盟主催大会では、令和５年度から地域クラブの大会参加も可能となりました。

子供たちの笑顔のために、部活動の指導者になりませんか？

子供たちのスポーツ・文化芸術活動を持続可能とするため、指導者として御協力いただける方や団体は、人材バンクへの登録をお願いいたします。

- 空き時間を活用して柔軟に働きたい方
- 個人（現役、退職者）、団体を問わず、社会に貢献したい方
- 知識や技術を生かしたい方

公益財団法人
東京都教育支援機構
Tokyo Education Promotion and Support Organization
TEPRO

ティープロ　サポーター　バンク
TEPRO Supporter Bank
https://www.tepro.or.jp/applicant/activity.html

部活動の地域連携・地域移行について掲載しています！

東京都教育委員会ホームページ
https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/content/physical_training_and_club_activity/club_activity.html

未来へ つなぐ 部活動改革　リーフレット
発行日：令和６年６月 28 日
発行者：東京都教育庁指導部
所在地　東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
電　話　03（5320）7474